

教育ネットワーク中国

～これまでの歩み～



一般社団法人
教育ネットワーク中国

高大連携事業

一般社団法人教育ネットワーク中国は、広島の高等教育機関が連携・協力することにより、広島の高等教育機関全体が魅力あるものとなり、各大学の学生の多様なニーズに応え、学ぶ意欲をもった人たちにより多くの学習機会を提供することを目的として1998年に「広島県高等教育機関等連絡協議会」として発足しました。

この発足時の理念である「連携・協力」に「共助」を加えた「連携・協力・共助」を理念とし、2005年に「教育ネットワーク中国」と改称しました。その後、2011年に法人格を取得し、本年で20年目を迎えました。その間、教育ネットワーク中国が関わる事業は年々増加してきましたが、皆様のご支援とご指導により現在がありますことを深く感謝申し上げます。

教育ネットワーク中国の事業は大学・短期大学、地方公共団体、高等学校、企業など、それぞれが持っている資源を相互に提供し合う形で実施されており、会員の皆様の連携と協力、助け合いによって成り立っています。

これからも、教育ネットワーク中国は、中国地方の教育機関全体を質的に向上させ魅力的なものとする
とともに、地域の発展に貢献することをめざし事業を推進してまいります。

代表理事 焼 廣 益 秀
(広島国際大学 学長)

一般社団法人 教育ネットワーク中国賛助会員 (2017年11月現在)

株式会社伊屋屋書店 中・四国営業部
 株式会社中国新聞社
 株式会社広島銀行
 広島信用金庫
 大学生協 中国・四国事業連合
 広島電鉄(株)
 株マルテン
 凸版印刷(株) 中四国事業部
 株進研アド 中・四国支社
 広島商工会議所
 株中電工 広島統括支社
 株リクルートマーケティングパートナーズ
 株もみじ銀行
 五洋建設(株) 中国支店
 清水建設(株) 広島支店
 株熊平製作所
 株合同総研
 株広島リバーサイドホテル
 丸善雄松堂(株) 広島支店
 広島市信用組合
 株日建設計 中国支所
 大日本印刷(株)情報イノベーション事業部 中四国営業本部
 西日本電信電話(株) 広島支店
 株フジタ 広島支店
 野村證券(株) 広島支店
 コトブキシーティング(株) 中四国支店
 株近畿日本ツーリスト中国四国 広島支店
 SMBC 日興證券(株) 広島支店法人部法人課
 広島管財(株)
 株アポアエンジニアリング
 呉信用金庫

中国電設工業(株)
 ㈱ A・I・C 広島マネジメントシェラトングランドホテル広島
 学ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校
 (株)オオケン
 レタープレス(株)
 (株)ムロオシステムズ
 山菊印刷(株)
 (株)ワイテック
 (株)むさし
 (株)テレビ新広島
 広島テレビ放送(株)
 広島ガス(株)
 (株)広島ホームテレビ
 (株)広島マツダ
 日本システム技術(株) GAKUEN 事業部
 (株)中国放送
 (株)マイティネット
 パナソニックシステム ソリューションズジャパン(株)
 (株)アンデルセン・パン生活文化研究所
 SCSK (株)
 廣告社(株) 広島支社
 ゼネラルスチール(株)
 (株)三菱地所設計 広島事務所
 (株)JTB 中国四国 広島支店
 (株)岡村製作所 広島支店
 (株)リーガロイヤルホテル広島
 コクヨマーケティング(株) 中国支社
 (株)酔心
 田中電機工業(株)
 (株)アステイ
 (株)大方工業所

加入順

加入順

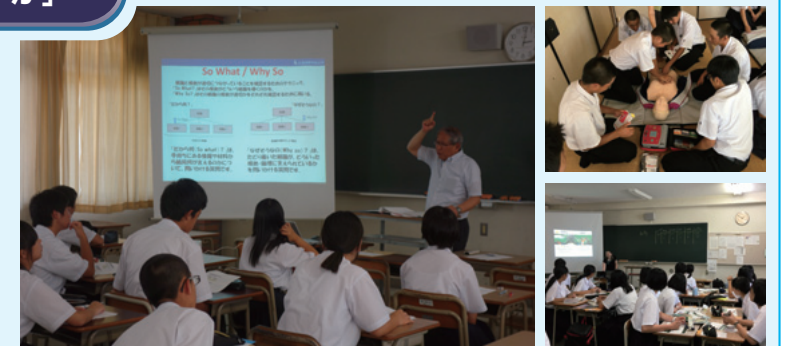
高大連携公開授業、公開講座、科目等履修生

大学の授業科目を高校生に公開することを通じて、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的として2002年度に開始しました。

公開授業(大学の正規の科目)と公開講座(高校生のために企画された講座)を提供しています。また、2007年度からは大学入学後に単位が認定される科目等履修生制度を設けています。

中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

2007年度より、毎年7月に中山間地域(三次地区・庄原地区・安芸高田地区)の高校を会場として、人文・社会・自然・複合の4分野で構成された1コマ50分の公開講座を実施しています。中には中学生の受講できる講座や、大学卒業後の進路を考える講座もあります。



高大連携遠隔授業

インターネットを利用することで、普段、高校生が受けることのできない大学の授業を「遠隔授業」として提供しています。広島経済大学や広島修道大学が、三次高等学校また庄原格致高等学校に対して実施しています。

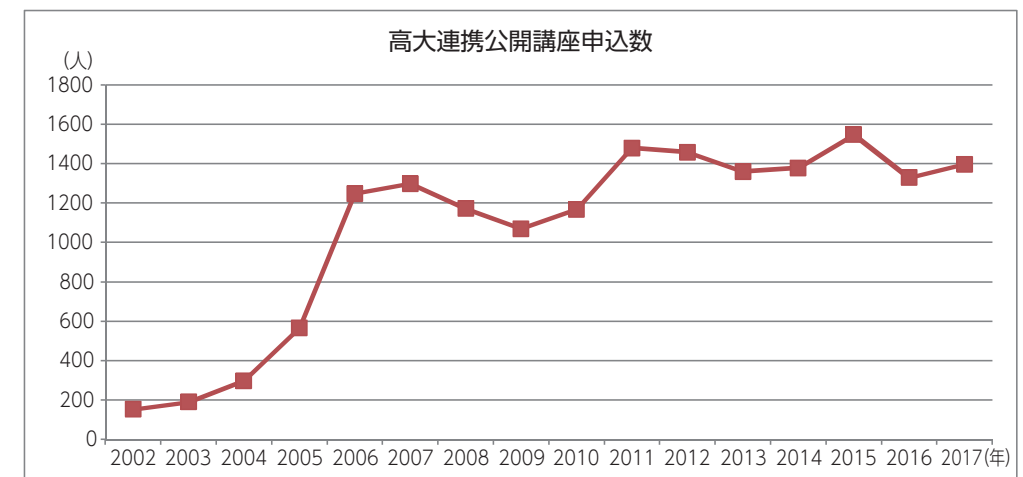


高大連携研究交流会

2005年度より、高等学校と大学の連携を促進する研究会と情報交換会を開催しています。

2016年度は県立広島大学との共催で「アクティブ・ラーニングと高大接続」を開催し、大学関係153人、高校関係37人、企業10人ほか(合計207人)の参加がありました。

高校生が
大学の講義を受講できる
って本当ですか？
ハイ本当です。

[illegible]

単位互換事業

単位互換協定大学間における単位互換

単位互換協定を締結した大学・短期大学等(以下、大学)に所属する学生が、他大学の授業を受講して修得した単位を、自大学の単位として認定できるようにしたものです。

加盟校はそれぞれ特色ある科目を開講しています。広島に関する科目、海外現地研修のある科目(広島県補助事業)、宿泊型の集中科目、フィールドワークを実施する科目などがあります。

サテライト科目

サテライトキャンパスひろしまにおいて、教育ネットワーク中国の単位互換制度を活用したサテライト科目を提供しています。グローバル人材やイノベーション人材の育成などを目指し、高校生、大学生や社会人が受講できる講座を開講しています。



〈サテライトキャンパスひろしま〉
県内全大学・短期大学・高等専門学校共用のサテライトキャンパスとして2013年4月にオープン。広島市中心部の立地を活かし、単位互換サテライト科目の開講のほか、高校生や社会人の地域の教育拠点、産官学の連携拠点、学生同士・学生と社会人の交流拠点として利用できます。

マツダ財団・中国新聞社寄付講義

マツダ財団による「ボランティア活動」(2000年度～)、中国新聞社による「現代社会とマスコミ」に関する科目(2008年度～)が寄付講義として提供され、単位互換科目として開講しています。

2016・7年度は広島修道大学「キャリア形成特殊講義(ボランティア活動)《マツダ財団寄付講義》」、広島大学「現代社会と新聞《～読もう、一緒に考えよう～》」中国新聞寄付講義が提供されました。

広域型単位互換科目

他地域のコンソーシアムに加盟する大学の科目を相互に提供し合い、地域間の教育と学生の交流を図ることを目的として、南大阪地域大学コンソーシアムと「広域型単位互換」を開始しました(2009年度～)。南大阪地域大学コンソーシアム加盟の羽衣国際大学から「キャリアと社会」が提供され、教育ネットワーク中国は広島経済大学の「広島を学ぶ《ヒロシマを歩いて考える》」を提供しています。



2016年 徳永先生
平和公園にて解説



2014年 岡ヨシエさん(故人)
広島城内中国軍管区司令部通信室跡にて解説

広島経済大学
「広島を学ぶ《広島を歩いて考える》」

※現在まで単位互換生として、南大阪地域大学コンソーシアム加盟校の羽衣国際大学、大阪府立大学、桃山学院大学、近畿大学、和歌山大学の学生が参加しています。その他、聴講生として東京大学、早稲田大学、立命館大学、九州大学、沖縄国際大学の学生も参加しています。

生涯学習事業

連携公開講座「ひろしまカレッジ」

生涯学習事業は、1999年度から開始し、多種多様な学習ニーズをもった社会人が、大学の提供する講座を受講できる機会を提供しています。

現在は広島市と連携して開講する講座「シティカレッジ」、サテライトキャンパスひろしまで開講する講座「サテライトカレッジ」、各大学キャンパスで開講する講座が開かれ、それぞれの講座は「ICカード受講証を活用したひろしまカレッジ」としても開講しています。



広島工業大学「サテライトカレッジ」

ICカード受講証を活用したひろしまカレッジ

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」(2008年～2010年)の採択を契機に、ICカード受講証を導入し、コンピュータで出席記録や受講履歴を参照できるようにしました。現在では、専用ICカードのほか、交通系ICカード「PASPY」や地域電子マネー「HIROCA(ヒロカ)」カードも受講証として利用できるようになっています。登録者は4,300名を超えています。



ひろしまカレッジちらし



シティカレッジちらし

エニカカレッジ(これからの教師像)

2005年度から「教師になりたい者、集まれ! 採用試験の準備は大丈夫?」というキャッチフレーズで実施しています。大学で学んだ成果を、直接次の世代に伝える「教師」という職に就こうと願う学生を対象に、広島県教育委員会および広島市教育委員会の協力を得て、教師に必要なとされる資質の向上につながる講座を開講しています。



ディスカッションの様子

教職員研修会

2006年度より研修委員会が運営の母体となり、教職員研修会を実施しています。単独開催の研修会に加え、大学行政管理学会の地区研究会や各大学との共催の研修会なども開催しています。大学改革に対応した教育力向上に関するテーマおよび組織改革に関連するテーマなど、先進的なものを開催するように心がけています。毎回多数の加盟校の教職員が出席して活発な議論が行われています。近年では初等・中等教育および高等教育機関のいずれにおいてもアクティブ・ラーニングが話題となっています。学生の主体的・対話的で深い学びを実現するために、教職員の関心が高いテーマで多くの研修が開催されています。開催様式も講演形式、ワークショップ形式など多様な研修会を実施し、なかでも入職3年以下の事務職員を対象としたSD研修は職員同士の大学間連携を促進する上で大きな役割を果たし、本組織の理念である「連携・協力・共助」を体現しています。

2017年度の第1回研修会(新人職員SD研修会)では、参加者が活発に議論および発表している姿が印象的でした。



新人職員を対象に講演



グループワークの様子



グループワーク成果発表

日程	2016年度 教職員研修会 テーマ	参加数
第1回 5/21 (土)	「これからの大学職員」 ※概ね入職3年以下の事務職員を対象とした 集合研修 講演:「2018年度問題を考えよう」 ・グループワーク	50
第2回 7/23 (土)	「大学設置基準の改正に伴うSDの義務化 に向けて」 事例報告1 「広島修道大学のSDへの取り組み」 事例報告2 「職員研修の体系化の取組みについて」 事例報告3 「広島経済大学のSDの現状について」	47
第3回 2/18 (土)	「これまでの大学IR、これからの大学IR」 ※大学行政管理学会地区研究会との共催 講演:「IRの基本と活用事例」	51
第4回 3/3 (金)	「アクティブ・ラーニングと高大接続」 ※県立広島大学・高大連携研究交流会との 共催 講演:「高等学校におけるアクティブ・ラーニ ングと高大接続改革」	207
第5回 3/7 (火)	「アクティブ・ラーニングに取り組むために ～コミュニケーション能力を引き出す～」 ※比治山大学・同短期大学部との共催	104

[2016年度 20会員校378人、他大学ほか81人、計459人]

地域社会との連携

ひろしま地域カード連携コンソーシアム

2012年4月6日、広島県内でICカードをはじめとした各種カードの利用促進やサービスの拡充を図るため、共同で課題解決に取り組むことを目的とした「ひろしま地域カード連携コンソーシアム」を中国新聞社、PASPY協議会、広島銀行と共に設立しました。広島県内における学生証の利活用や、ICカードをはじめとした各種カードサービスの創造、システムの共通基盤の整備、地元企業・団体との連携強化を図るなど、カード連携による地域活性化に資する活動を行っています。

中国新聞キャンパスリポーター

本制度は2008年10月よりスタートしました。研修を受けた学生リポーターが所属する大学のニュースや話題を原稿にして、写真とともに中国新聞社に投稿したものが、同紙の紙面「キャンパスリポーター発」(毎週月曜日)およびウェブサイトに掲載されます。

大学の様々な出来事に関心をもち、取材し、記事にすることを通じて、学生の社会性や表現力等のスキルアップを図ることを目的としています。この活動を通し大学に対する市民の関心を高め、年間を通し優れたリポート活動をした学生を表彰しています。



キャンパスリポーター研修会

ひろしまフラワーフェスティバル「折りづるみこし連」

5月3日、平和の祭典であるひろしまフラワーフェスティバル「花の総合パレード」の「折りづるみこし連」に参加しています。

平和への願いを込め制作した折りづるはフェスティバル最終日まで平和公園内に展示されます。展示した折りづるは内部をライトで照らし、フラワーキャンドルなどの光イベントと連動し祭を盛りあげます。



折りづるみこし連

大学競宴!シャレオ大学生コンサート

2015年8月7日、「広島の大學生の歌声や演奏で、広島を盛り上げたい」という加盟大学からの声を受け、未来を担う若者(大学生)が中心となり、歌と演奏で“ひと”と“まち”を元気にすることを目的として、広島市中心部「シャレオの中央広場」を会場に5大学で開催をしました。現在は9大学と出演校も増え、5月と11月の年2回開催しています。



(正会員)

エリザベト音楽大学
近畿大学工学部
県立広島大学
山陽女子短期大学
比治山大学
比治山大学短期大学部
広島経済大学
広島工業大学
広島国際学院大学
広島国際学院大学自動車短期大学部
広島国際大学
広島修道大学
広島女学院大学
広島市立大学

広島大学
広島文化学園大学
広島文化学園短期大学
広島文教女子大学
安田女子大学
安田女子短期大学
呉工業高等専門学校
島根県立大学
日本赤十字広島看護大学
広島都市学園大学
広島県私立中学高等学校協会
広島県教育委員会
広島市教育委員会
呉市教育委員会

(準会員)

尾道市立大学
福山市立大学
福山大学
福山平成大学



事務局
〒730-0803
広島市中区広瀬北町 9-3
広島修道大学インターナショナルハウス内
TEL 082-533-7590
FAX 082-533-7591
E-mail office@enica.jp
URL <http://www.enica.jp/>